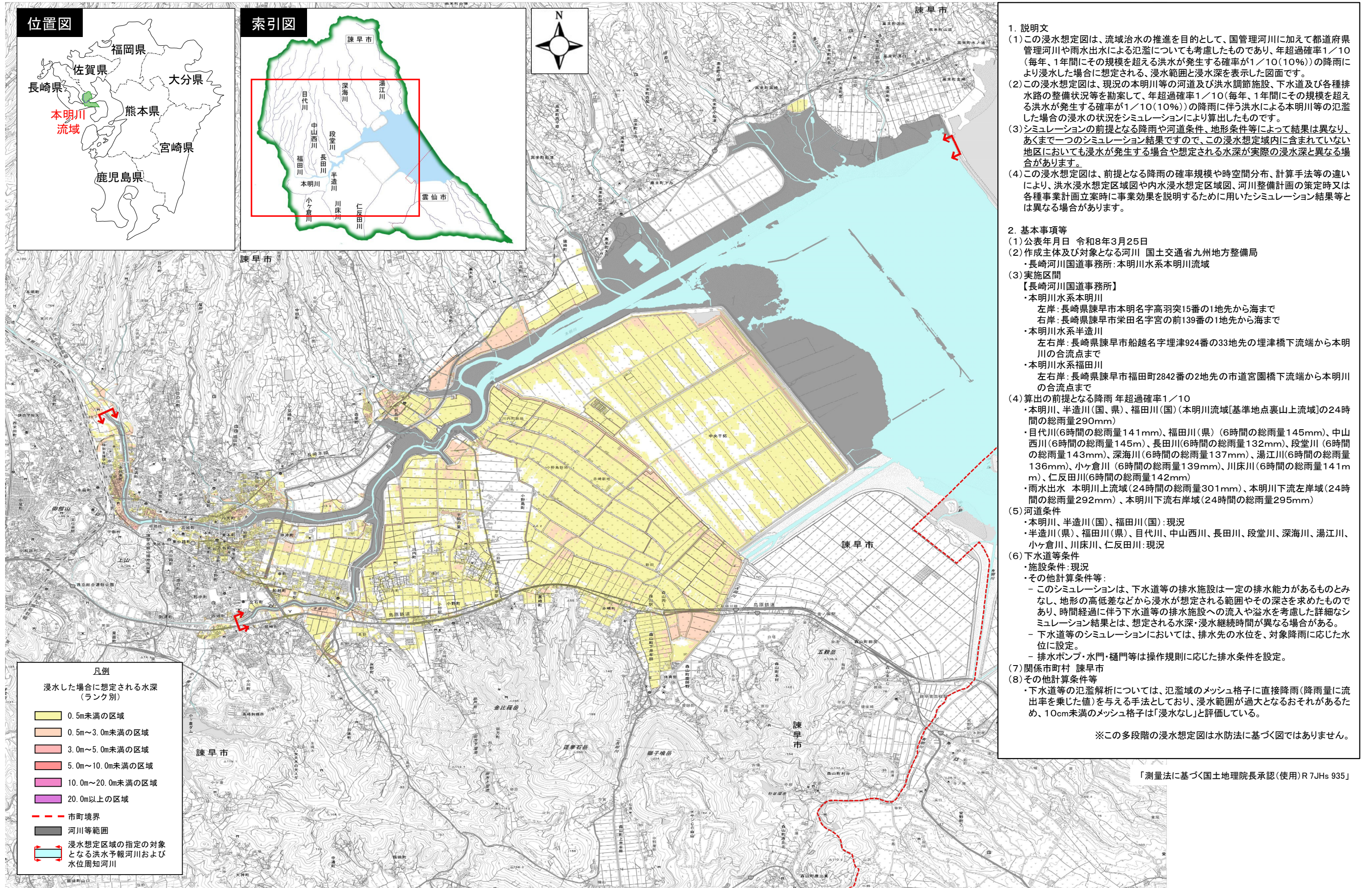


本明川水系 内外水統合の浸水想定図(1/10規模降雨) 【現況河道】



1. 説明文

- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2) この浸水想定図は、現況の本明川等の河道及び洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水による本明川等の氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

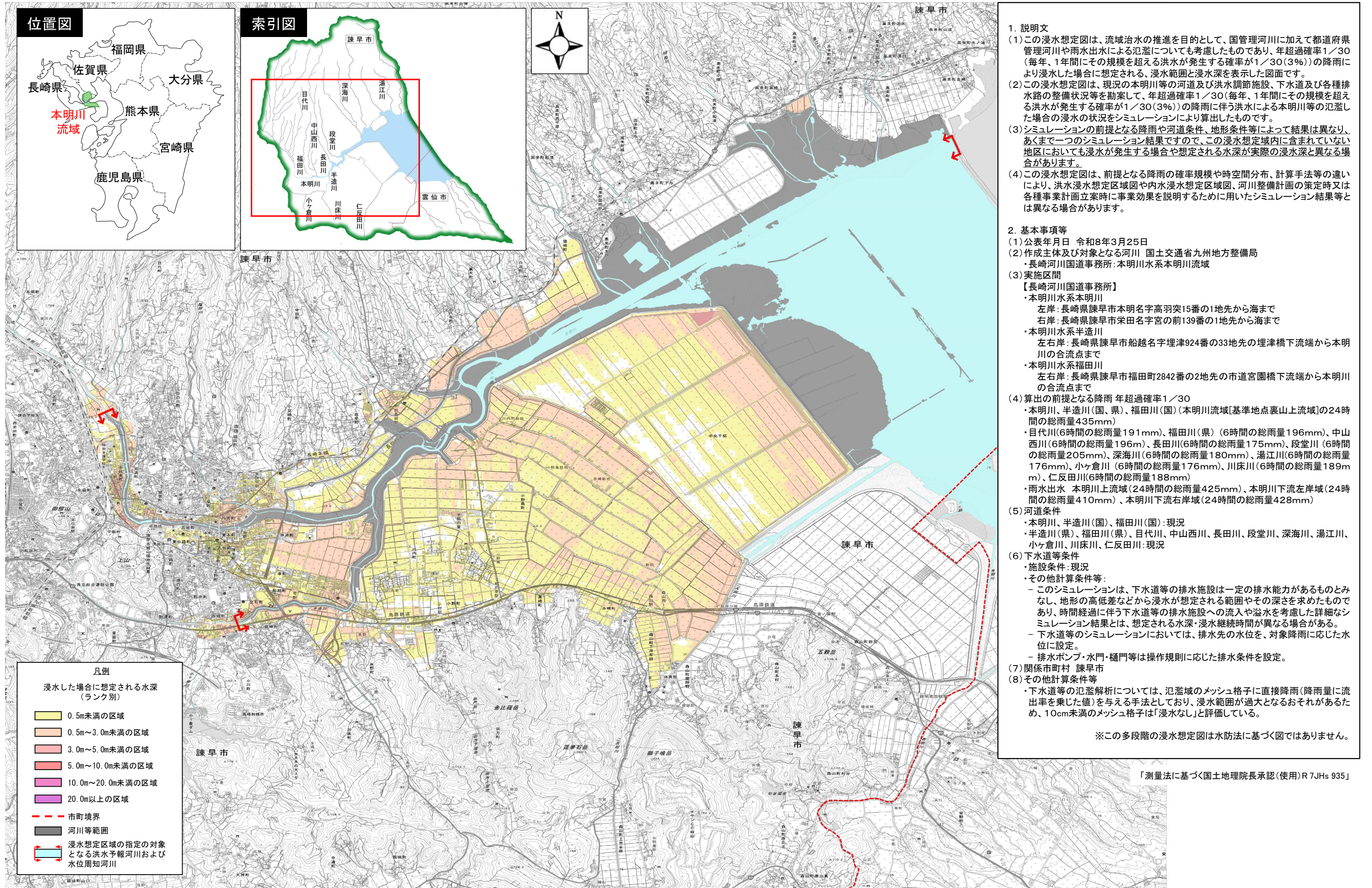
2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和8年3月25日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
長崎河川国道事務所: 本明川水系本明川流域
- (3) 実施区間
【長崎河川国道事務所】
・本明川水系本明川
左岸: 長崎県諫早市本明名字高羽突15番の1地先から海まで
右岸: 長崎県諫早市栄田名字宮の前139番の1地先から海まで
・本明川水系半造川
左右岸: 長崎県諫早市船越名字津理924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
・本明川水系福田川
左右岸: 長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/10
・本明川、半造川(国)、福田川(国)(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量290mm)
・目代川(6時間の総雨量141mm)、福田川(県)(6時間の総雨量145mm)、中山西川(6時間の総雨量145mm)、長田川(6時間の総雨量132mm)、段堂川(6時間の総雨量143mm)、深海川(6時間の総雨量137mm)、湯江川(6時間の総雨量136mm)、小ヶ倉川(6時間の総雨量139mm)、川床川(6時間の総雨量141mm)、仁反田川(6時間の総雨量142mm)
・雨水出水 本明川上流域(24時間の総雨量301mm)、本明川下流左岸域(24時間の総雨量292mm)、本明川下流右岸域(24時間の総雨量295mm)
- (5) 河道条件
・本明川、半造川(国)、福田川(国): 現況
・半造川(県)、福田川(県)、目代川、中山西川、長田川、段堂川、深海川、湯江川、小ヶ倉川、川床川、仁反田川: 現況
- (6) 下水道等条件
・施設条件: 現況
・その他計算条件等:
- このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
- (7) 関係市町村 諫早市
- (8) その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 935」

本明川水系 内外水統合の浸水想定図(1/30規模降雨) 【現況河道】



1. 説明文

- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2) この浸水想定図は、現況の本明川等の河道及び洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水による本明川等の氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

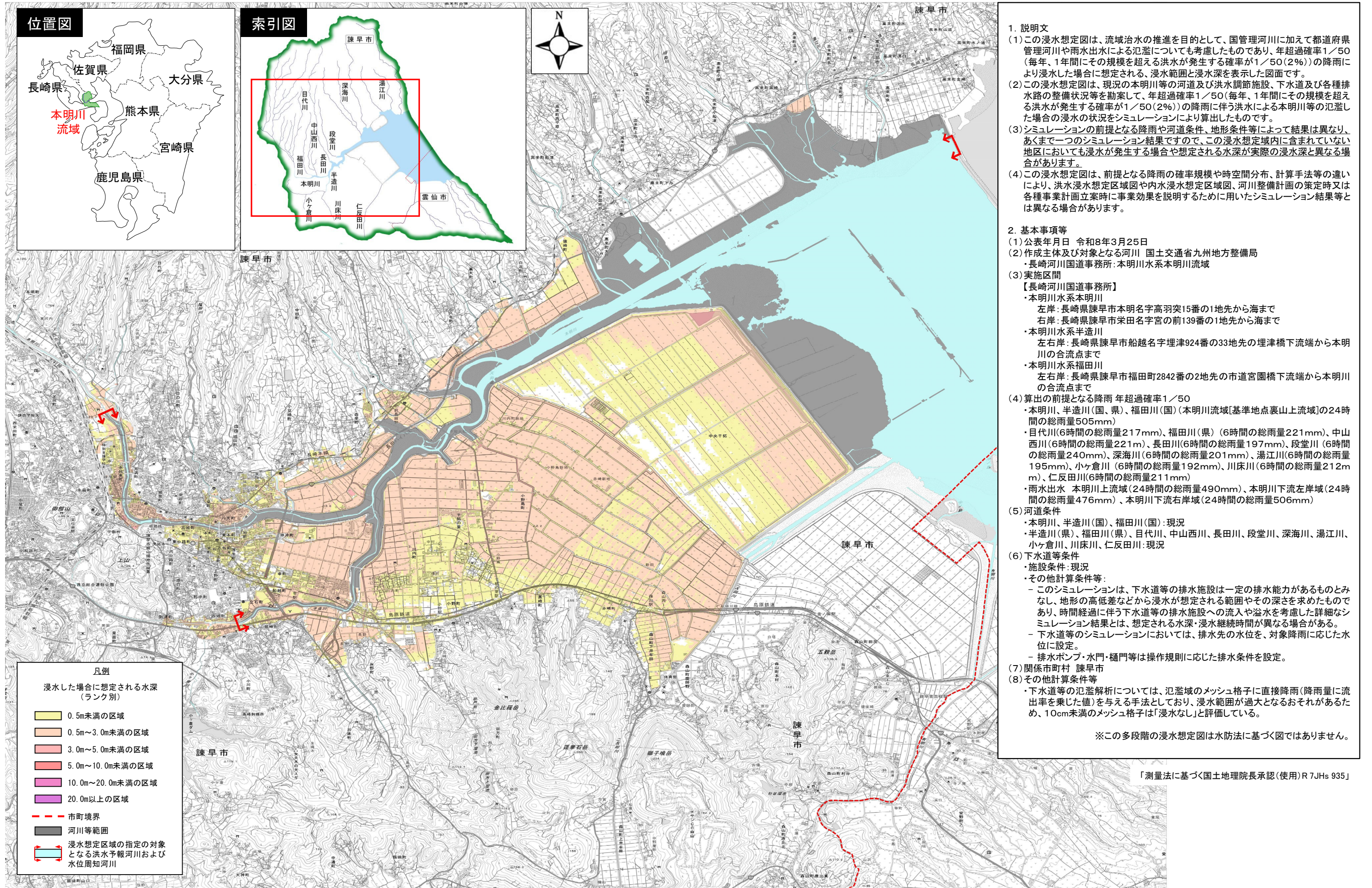
2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和8年3月25日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・長崎河川国道事務所: 本明川水系本明川流域
- (3) 実施区間
【長崎河川国道事務所】
・本明川水系本明川
左岸: 長崎県諫早市本明名字高羽突15番の1地先から海まで
右岸: 長崎県諫早市栄田名字宮の前139番の1地先から海まで
・本明川水系半造川
左右岸: 長崎県諫早市船越名字津理924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
・本明川水系福田川
左右岸: 長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/30
・本明川、半造川(国、県)、福田川(国)(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量435mm)
・目代川(6時間の総雨量191mm)、福田川(県)(6時間の総雨量196mm)、中山西川(6時間の総雨量196mm)、長田川(6時間の総雨量175mm)、段堂川(6時間の総雨量205mm)、深海川(6時間の総雨量180mm)、湯江川(6時間の総雨量176mm)、小ヶ倉川(6時間の総雨量176mm)、川床川(6時間の総雨量189mm)、仁反田川(6時間の総雨量188mm)
・雨水出水 本明川上流域(24時間の総雨量425mm)、本明川下流左岸域(24時間の総雨量410mm)、本明川下流右岸域(24時間の総雨量428mm)
- (5) 河道条件
・本明川、半造川(国)、福田川(国): 現況
・半造川(県)、福田川(県)、目代川、中山西川、長田川、段堂川、深海川、湯江川、小ヶ倉川、川床川、仁反田川: 現況
- (6) 下水道等条件
・施設条件: 現況
・その他計算条件等:
- このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。
- (7) 関係市町村 諫早市
- (8) その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

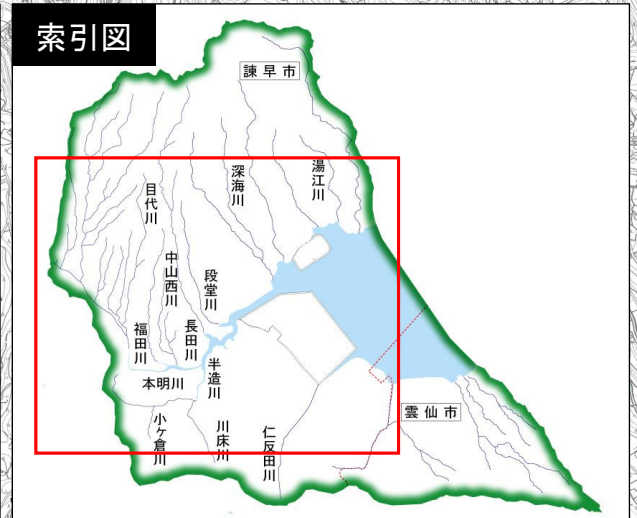
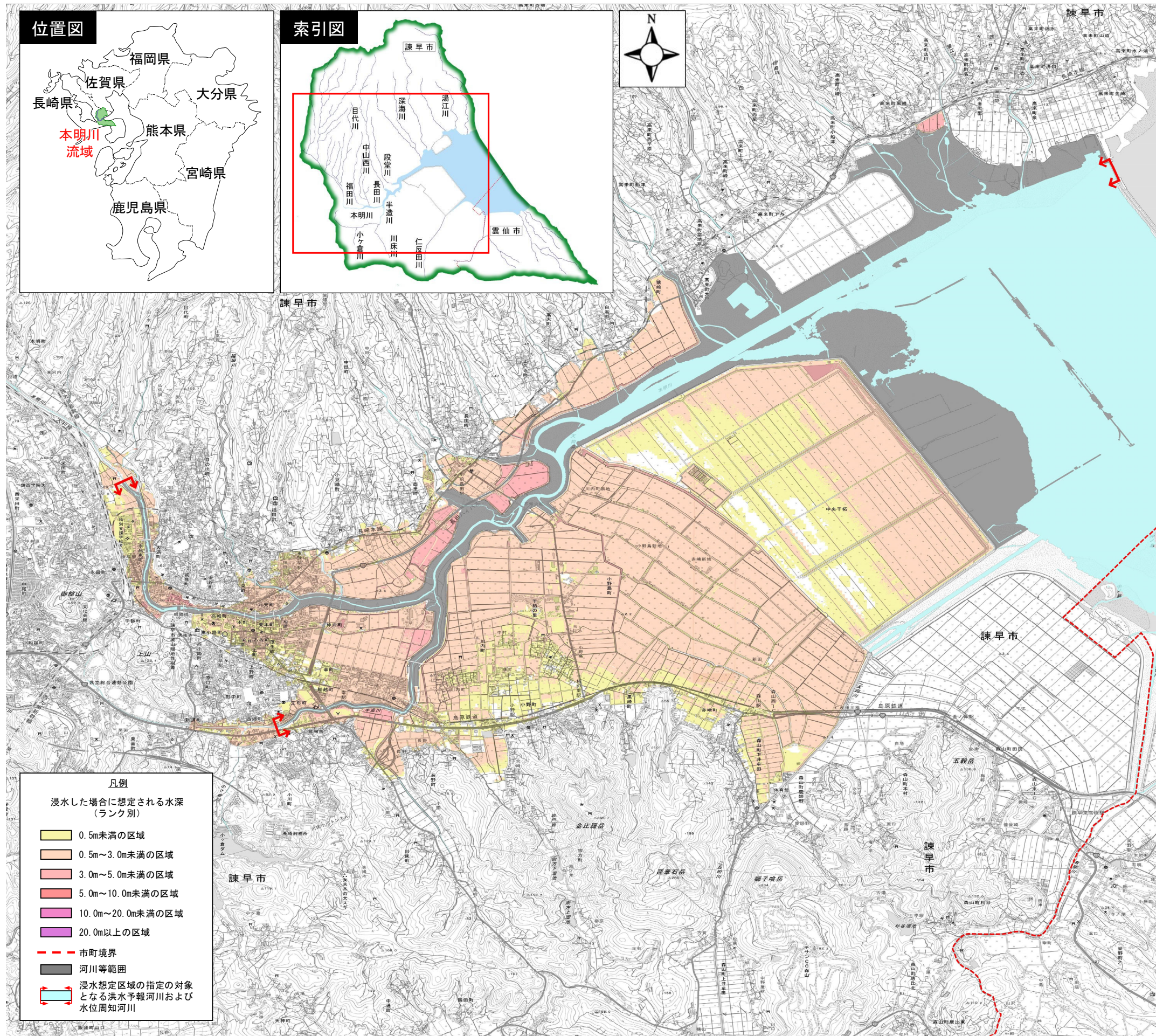
※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 935」

本明川水系 内外水統合の浸水想定図(1/50規模降雨) 【現況河道】



本明川水系 内外水統合の浸水想定図(1/100規模降雨) 【現況河道】



凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域

--- 市町境界

■ 河川等範囲

→ 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の本明川等の河道及び洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水による本明川等の氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年3月25日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・長崎河川国道事務所: 本明川水系本明川流域

(3) 実施区間
【長崎河川国道事務所】
・本明川水系本明川
左岸: 長崎県諫早市本明名字高羽突15番の1地先から海まで
右岸: 長崎県諫早市栄田名字宮の前139番の1地先から海まで
・本明川水系半造川
左右岸: 長崎県諫早市船越名字津津924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
・本明川水系福田川
左右岸: 長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/100
・本明川、半造川(国、県)、福田川(国)(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量625mm)
・目代川(6時間の総雨量254mm)、福田川(県)(6時間の総雨量257mm)、中山西川(6時間の総雨量258mm)、長田川(6時間の総雨量229mm)、段堂川(6時間の総雨量296mm)、深海川(6時間の総雨量228mm)、湯江川(6時間の総雨量223mm)、小ヶ倉川(6時間の総雨量215mm)、川床川(6時間の総雨量246mm)、仁反田川(6時間の総雨量243mm)
・雨水出水 本明川上流域(24時間の総雨量589mm)、本明川下流左岸域(24時間の総雨量579mm)、本明川下流右岸域(24時間の総雨量632mm)

(5) 河道条件
・本明川、半造川(国)、福田川(国): 現況
・半造川(県)、福田川(県)、目代川、中山西川、長田川、段堂川、深海川、湯江川、小ヶ倉川、川床川、仁反田川: 現況

(6) 下水道等条件
・施設条件: 現況
・その他計算条件等:
- このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

(7) 関係市町村 諫早市

(8) その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 935」